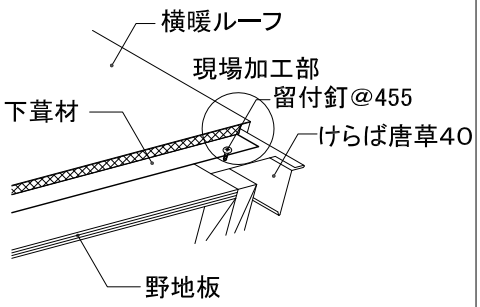
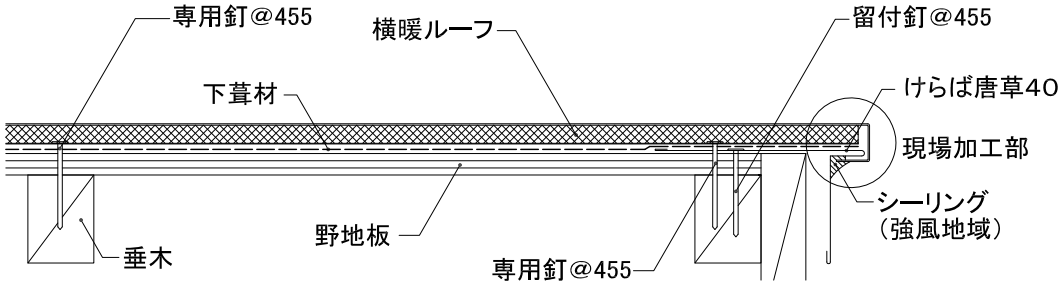
横暖ルーフ

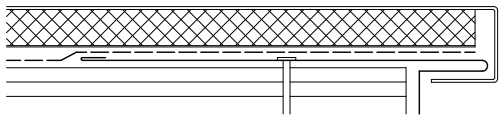
工 法	下 地	構造
新築	耐水合板	木造

4）けらば部　　①けらば唐草40

○けらば唐草40は留付釘（ステンレススクリュー釘
長さ32㎜以上）を用いて、455㎜以下の間隔で、
図の位置に取り付けます。
○下葺材を図のように張り、横暖ルーフ本体は
専用釘（ステンレススクリュー釘φ2．3㎜×50㎜）
を用いて、455㎜以下の間隔で垂木に施工してください。
○横暖ルーフ本体端部を図のように現場加工し、
けらば唐草40へ納めてください。
強風地域では取り合い部にシーリングを
施工してください。



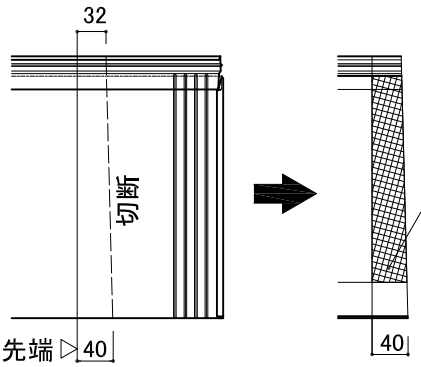




部分断面図

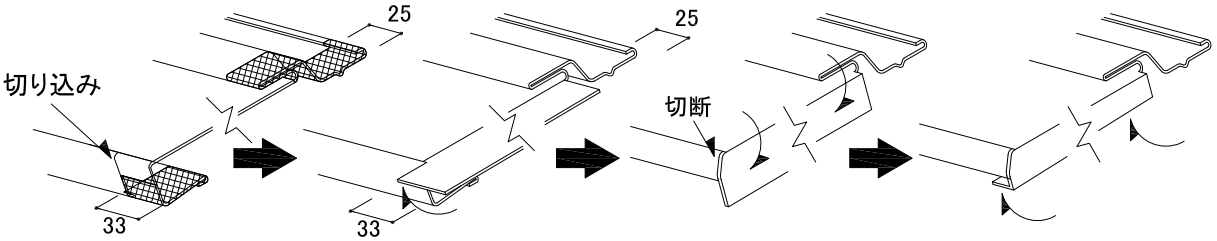
■施工ポイント・現場加工図
○横暖ルーフ本体のけらば部分は図のように加工してください。

①けらば唐草先端から
図の寸法で切断します。



②長辺端部から40㎜の位置まで
芯材のウレタンと裏面紙を剥がして
ください。

芯材ウレタンと裏面紙を剥がす



③網掛け部分を
切り落とします。

④切り込みを入れた部分を
水平に起こします。

⑤けらば唐草先端を巻き込むように
折り曲げます。